

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

4月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	4月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	B	・事務所他のドアストッパーが老朽化・減耗してきており定位置に止まらない物が4箇所出てきた。本体は十分に継続使用可能な状態であるのでアーム部分を交換し復旧した。これを機に他も点検したところ脱衣所の多目的トイレのロック部分がやはり減耗し中から解除しにくいとの指摘があった事が判明。特に右側トイレが状態が酷くスムーズに施錠・開錠し難かったため交換を実施し従前状態に復旧した。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	A	・昨年11月からハートの汎用化の一環として従来ほぼ、厨房専属、フロント業務専属をどちらの業務も可能なように全員交番勤務とし柔軟性を増したが、男性勤務者もそれと同様に従来早番専属、遅番専属を80%程度にし全員がどの番にも対応可能とし、更に厨房責任者にもフロント勤務のトレーニングを実施し男性計4名が緊急時の対応可能な体制とした。	A	無	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	・駐車所・遊歩道の街路灯のLED化検討中 現在街路灯は 本あり間引き等の節電を実施しているがあまり暗くもできない(昨年夜間に街路灯に衝突の事故あり・人身事故にはならず車体損傷事故) LEDは現行白熱球と比べると約64%の省エネとなり、問題はイニシャルコストを含め何年で投資回収ができるかである。 浴室用の防湿小型球も併せて検討中。	B	無	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうだったか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	A	4・5月のゴールデンウィークに向けて ・冷し中華(黒酢仕立て) ・グリーンラーメンサラダ を販売開始例年は6月頃に販売開始としていたが気温が高くなる季節に向けて早めに 出す事により顧客のニーズに対応した おまかせとして3月の焼肉丼に替えて 涼味溢れる「ぶっ掛けうどん」も販売開始した	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

5月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	5月						所管課確認			
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		時期	内容	対応状況	次年度対応
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無					
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	B	・6月戸吹清掃工場点検期間内の蒸気供給停止に伴うボイラー運転に備えてボイラー本体・系統を点検・整備を実施。 ・大広間向かいの男子トイレ(大使用)のスライドロックレバーの緩みが大きくなりロックしづらいとのクレーム数あり。点検の結果ドア内外のレバーを締め付けナットを増し締めし復旧。念の為、女子トイレの同様レバーも点検し異常の無き事を確認した。 ・毎月定期清掃にて今月は全館内窓拭きを実施。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無					
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	A	・厨房内作業安全・衛生面での改善を意図しレイアウトの変更、棚の増設を行い更に安全性・作業性の向上と衛生面での維持確保を実現した。 ・従来新規MENUの打合せは事務所側と厨房責任者のみで行ってきたがより開発スピードのアップと指示・徹底を図る為バート専用ノートの設置と開発会議にも選任バートを出席させる事とした。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無					
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	・館内照明をよりECOで省エネ効果の高いLED化を検討しているが、館内照明器具の殆どが蛍光灯でありLED化するには器具ごとの交換が必要な事と直管型は改造工事に加えまだまだ高価な点がネックとなっている。数少ない白熱型で且つ消費電力の大きい街路灯(主に駐車場用)のLED化の実験を実施。消費電力は従来比で約1/3となる。ランプの価格が高価な点が問題だが常夜灯に置き換えれば使用時間が長いので回収期間は短くなる	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無					
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	・浴室天井・壁面の塗装の休館に合わせてMENU・飲料の全面見直しを実施。種類 ラーメン、定食、つまみ、スナック系の各ジャンル毎に美味しさ、料目、価格等の顧客満足度を重点に評価改善を行う ・5月度イベントとして安眠枕作り教室を開催。昨年実施時の好評に応じて再度今年度も開催、募集定員30名に対して22名約73%の集客率であった。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無					

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

6月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	6月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>6/17~25の戸吹清掃工場の定修に伴う蒸気停止に併せて浴室天井塗装を実施</li> <li>渡り廊下左右の雨樋の設置見積提出</li> <li>駐輪場舗装 従来から不評であった駐輪場の舗装を市の道路整備課の方で工事を実施してもらい完了。隣接の物置の前部分も舗装してもらい物品の出し入れが非常にやりやすくなった。</li> </ul>	B	目標や計画通りの成果であったため、B評価とした。	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来統一性なく、掲示していた入館時規則を一覧表にして判り易く表示した。</li> <li>刺青禁止、ポイント制度、浴室交替要領</li> <li>持込禁止、ペット同伴禁止、泥酔入浴不適</li> <li>食堂MENUの開発は厨房責任者が主に行ってきたが、おまかせ、季節MENUなど手作りの品目が増えてきた為、開発業務と責任を持たせる為にパートの副責任者を新たに置いた。</li> </ul>	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	<p>駐車場街路灯省エネ対応LED化対策として まずは2箇所を交換TEST開始 現状駐車場・遊歩道も含め17本使用 性能的には従来水銀灯250Wに対してLEDランプは約90Wで△64%の削減となる 年間の電力消費量のシミュレーションとしては 現行水銀灯: 21万/年 LED化 : 7.6万 条件: 12本/5h/日/350日/@20 5本/12h/日 "</p>	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月度イベントとして14日から7月12日迄の全5回のカラオケ教室を開催昨年度好評につき各回2回のコースとし毎回約20名の参加を得て好評であった。</li> <li>食堂MENU新商品として6月度健康MENUとして「健康ドライカレー」を販売開始、おまかせとしては「焼肉丼」と「梅酢冷しそば」をリリース。</li> </ul>	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

7月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	7月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>左側薬湯の循環ラインをポンプ、配管ライン浴槽内熱交換器も含め解体洗浄実施。</li> <li>7/24、25除草実施</li> <li>左右露天中庭、除草・剪定</li> <li>駐車場側面、大広間中庭、除草・剪定</li> <li>左浴室壁面2連ランプ腐食・老朽化の為漏電状態⇒丸型蛍光管型に交換</li> <li>浴室内照明器具は開所以来10年を超え老朽化・腐食が激しくなっているため漏電等事故が発生する前に計画的に更新し省エネと安全性の両立を図ってゆきたい。</li> <li>駐車場街路灯ガラス面清掃</li> </ul>	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月から閉館後の浴室清掃を浴場組合雇いから日昇産業へ業務委託開始。</li> <li>従来のモップブラシに替え高圧洗浄器を導入</li> <li>汚れの酷い土休日の洗浄も確実に汚れを落せ且つ、あまり手の届き難かった壁面も大幅に洗浄できるようになった。</li> <li>それに伴い洗浄器、ホース、ブラシ類を収納する保管庫を各露天風呂外側に設置。</li> <li>右側脱衣所脇収納庫には上記を収めていたが洗濯機、乾燥機に加え丸ダクト他で満杯の状態であったが整理し作業の安全性向上</li> </ul>	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先月テストした駐車場の水銀灯を2基LED化実施。従来のピンポイント発光からほぼ面発光と看做せるLEDランプは従来品と比し数倍明るく、全てLED化すれば夜間の駐車場でポール衝突事故防止にも有効と思われる共に、現状閉館後の常夜灯として5基点灯しているが半分以下の2基に減らしても十分な明るさが確保でき且つ、電力使用量は約△85%削減可能である。</li> </ul>	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうだったか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月度イベントとしては「カラオケ教室」の続きを2回開催。</li> <li>親子ヨガ教室「親子ヨガ」を7/20に開催、8組 18名の参加で好評裡に終えた。</li> <li>健康MENUはドライカレーを継続、ラーメンシリーズの拡充として「八王子市ヘルシーMENU」の野菜たっぷりラーメンの姉妹版として「野菜炒めラーメン」をリリース。</li> </ul>	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

8月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	8月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	A	・浴室(2)脱衣室エアコン#110設定温度に対し暑いとの指摘を受け室内機のフィルタ清掃実施 ・廊下エアコン「#201-1」アラーム点滅の為、点検・・・エアコンドレン水排出口詰まりと判明詰まりを解消し正常に復旧 ・職員の啓蒙の為、集中コントローラの下部に改めてエアコン配置図を貼り付けより良い顧客サービスに供する事とした	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	A	・毎日閉館時間の前に朝礼を実施 申送り事項、本日のイベント、昨日の業績、など伝達と意見交換の場としている。特に自主事業の柱である厨房業績に関しては入館者数の表示と共に下記のような項目を白板に記入し従業員全員の意識向上に役立っている。 ・昨日の入館者数 ・顧客単価(厨房売上を前入館者数で除す) ・発券当り単価(厨房売上を発券数で除す) ・昨日販売BEST3 ・厨房売上比率(全売上に対する厨房売上高)	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	A	・節水協力ポスターを目立つところに掲示しお客様に少しでも節水の意識を向上すべく努めた ・今8月は異常な暑さの連続であったが、パート従業員職員の健康状態を勘案し熱中症、脱水状態に注意を払いながら館内清掃時には窓明けと換気扇を併用し出来るだけエアコンの運転開始時間を遅くし省エネ、節電を図った。	A	無	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	・8月度は従来からの健康MENUの惣菜・定食系からガラッと趣向を一新し健康和風スイーツを岡本栄養士にご教示願った(8/29) 「お月見団子」「豆腐入りフルーツ白玉」「オレンジ風味の羊羹」「小倉ミルクゼリー」を試作、販売開始した ・9月に向けて秋MENUを試作中 味噌ラーメンリニューアル、もつ焼き、和風カレーうどん、きし種など販売予定	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

9月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	9月						所管課確認			
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		時期	内容	対応状況	次年度対応
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無					
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	A	薬浴(2)湯張り用混合栓 動作不良により湯張り時に高温水が給水されていた。現場スタッフの定常的な巡回点検と迅速な不具合報告により、早期に混合栓の分解整備が実施できた。これにより利用者のやけど防止が未然に防ぐ事ができた。利用者の安全確保に継続的に取り組みます。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無					
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	B	薬浴(1)、(2)共に浴槽内に発汗作用のある薬剤を投入するが、竣工からの配管施工の不備もあり、多くの薬剤が配管中に堆積し、継続的に使用していると浴槽内に汚れが出ることもある。今月休館日を利用して、配管を取外し高圧洗浄機にて配管清掃を実施した。衛生面と利用者の快適性を向上させるため継続的に実施をしていく。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無					
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	9月度になり、気温が若干低下してきているため、大広間、カラオケ室のエアコンの台数間引き運転を実施。大広間は6台のところ3台運転。カラオケ室は、4台のところを2台運転とした。 また、脱衣室に関しては、室内機熱交換器が衣服による綿ボコリが堆積し、能力不足を生じていたため4台の室内機洗浄を修繕として実施。環境への配慮と利用者満足度の向上に努めた。	B	無	無					
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	A	・満足度調査実施 9/9より10月初旬まで実施 ・カラオケ大会開催 9/21予約受け付け30名に対し28名のエントリーにて開催。審査委員長には今年度6~7月にカラオケ教室の講師の先生に依頼、他審査委員として所管 春田主査、館長川瀬でわきあい合いの内に閉幕した。 ・季節MENUとして「秋刀魚蒲焼丼」、「秋刀魚竜田揚定食」販売開始	C	盲導犬ユーザーへの対応について、目標や計画を下回っており、努力が必要であったため、C評価とした。	有	随時	湯ったり館HPに介護犬同伴で来館される場合には、必ず事前に電話連絡をするよう掲載する。	済		

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

10月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	10月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	B	・大広間、カラオケ室その他のエアコンフィルタ交換脱衣室は衣服の脱衣、着衣を毎日多くのお客様が行う事から綿埃が多く冷房能力の低下が激しく室内機を取り外して洗浄・オーバーホールを実施した ・エアコンの熱放出口である冷却塔の冷却フィンにもゴミ・汚れが酷くなったので洗浄実施した	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	A	・9月から顧客満足度調査を10月まで実施 全問満足度・大切さを1～4の評価で行い各項目の評点は以下の通り、各項目の評点を参考に更に満足度の向上を目指します。 ・従業員の対応・・・3.5・清掃状況・・・3.6 ・湯量・湯加減・・・3.4・熱い場として・・・3.35 ・施設の来やすさ・・・3.3・施設のPR・・・3.15 ・館内のわかり易さ・・・3.3 ・使用料金・・・3.15 ・施設全体の満足度・・・3.27 (数値は満足度、大切さの平均)	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	・10月としては例年になく残暑が長引いたが午前中の比較的涼しい時間帯は冷房を切り、窓を開ける事に対応、又大広間・カラオケ室は着座具合を見ながら不便の無いようこまめに照明を点灯、消灯、更に正面玄関入口の内側自動ドアは終日停止状態にして電力の節減を図った。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	・厨房おまかせMENUとして牡蠣フライ定食、ネギトロ丼を販売開始。人気の高いハンバーグ定食はおろしハンバーグから季節に合わせて「照り焼きハンバーグ」を投入。 ・10/18盲導犬ユーザーと市会議室にて打合せ・・・11月に来館の予定あり ・10/26都立翔陽高校和太鼓クラブに和太鼓演奏会を開催、大和太鼓・・・5基、小和太鼓・・・2基の迫力ある演奏で来場者からは大変好評であった	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				



# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

11月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	11月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	A	・11/21修繕実施 浴室喚起ファン交換 蒸気減圧弁交換 機械室排水ポンプ交換 ・11/14渡り廊下雨樋部分的に設置・・・従来は雨樋がない為、雨の多い時には外壁を伝って非常口のドアから雨水が廊下に浸入していた。その為、ブルーシートを外壁に張り重石で固定していたが、台風などの強風時には危険な状況であったが、今回の雨樋設置でそれは解消された。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	A	・11/14火災避難誘導訓練、救急救命訓練、AED取扱い講習会実施 職員十パート含め、17名参加 ・火災避難訓練・・・火災報知器操作実習、全館消火器設置場所確認、非常口確認、入館者誘導訓練実施 ・救急救命訓練・・・ダミー人形による心臓マッサージとマウスピースによる人工呼吸法実施 ・AED取扱い訓練・・・救急救命の一環として取扱い方法の訓練実施	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	A	・11/5～7植栽(除草)実施 駐車場周り、中庭、遊歩道と遊歩道東側の葛の撤去実施 ・11/21露天風呂左右の中庭、剪定と除草実施	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	・おまかせ・・・海老カツ定食/野菜炒め定食 ・厨房責任者募集・・・責任者決定11/26より正式勤務 ・11/9盲導犬協会受入・・・関連:湯ったり館スタッフに対し受入時の注意事項を説明、徹底 ・11/13八王子市よりAED使用状況の為、調査指摘事項 1) AEDの設置場所を周知させる掲示を館内にも ⇒大広間、脱衣所(左右)にも掲示 2) AEDパッド、電池の使用期限を外から見えるように ⇒本体小窓から見えるようにした ・盲導犬ユーザー2名(障害者、介護者各々7名、計14名来館(11/9))	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無	11月9日	盲導犬ユーザー受入について事前に所内講習会実施	済	



# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

12月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	12月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	A	・12/2倒木撤去 ・12/26インシシ対策・・・中庭電気ショック柵設置 昨年に続きインシシによる中庭の掘り返しが11月末頃から発生。インシシが嫌う臭気による忌避剤等を散布してみたが思うように改善が見られない為、中庭ほぼ全域を囲む形で電気ショック柵を設置、現在まで掘り返しが増えていない状況なので効果ありと判断している。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	B	・顧客サービスの一環として備え付けの「ボディソープ」と「リンスインシャンプー」を提供しているが特に入館者数の多い休・祝日には不足の無いよう管理すると共にロット毎の使用量を把握の為、1箱(20L)の更新ごとにチェックし使用量と在庫管理を行っている。 ・お客様サービスとして大広間に給茶機を置いていたがお茶の品質の吟味と出来るだけコストを押しさえつ癒しの空間に沿うようなテイストを提供する為、定期的に銘柄の改廃と給茶機の茶量、茶碗の杯数、濃度・味を日頃から注意しながら運用している	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	・今年度の冬は厳しい寒さが目立つ 機械室換起ファンが8時～9時頃までスケジュール運転で自動的に"ON"となってしまうので外気の状態と機械室内温度を勘案し不要の時は強制的に"OFF"とし電力削減と共に地球温暖化の削減に努めている	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	・12/8「石鹸粘土のカラフルXmas教室」参加者20名(内小人7名)例年後述のクリスマスコンサートと同時に実施しているが今年度は12月初旬のいささか早い時期ではあったが盛況であった 同日「Xmasボサノバコンサート」開催・・・19名の参加者 ・11月からの「チェアヨガ教室」12/3で終了 ・12月度厨房おまかせMENUとして「焼鳥丼」「メンチカツ&クリームシチューセット」販売 12/5～16ラーメンフェア開催 正月向けMENUとして「ぜんざいセット」と毎日限定で「年越し海老天そば」販売	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

1月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	1月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	A	・1/1初詣の帰りとと思われる学生風男女の団体の男性風呂から出た帰り際玄關出て脇のベンチで談笑中に発作様の痙攣で転倒し様子を見たが呼吸、脈等はあったので安静にしておいたが大事を懸って救急車の出動を依頼し病院に搬送 ・同日21時頃浴室内で5歳の男児が痙攣を発症、救急車で病院に搬送	A	無	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	B	・土日祭日のパートのシフトを従来ではフロント専用、厨房専用としていたが厨房の負荷が比較的低いときには専用の場合はその持ち場に留まっていた例えはフロントで仕事が多くなった場合は補助等の融通が利きずらかった。それを解消し負荷に応じて動ける「フロント、厨房兼用」を新たに創設、負荷に応じてどちらでも可能な体制が出来た	B	無	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	・節電ECO対策として照明器具の間引きを実施している 大広間、カラオケ室、渡り廊下、脱衣所、事務所の間引きに加え、お客の込み具合によって消灯、点灯をこまめに実施 但し、お客様商売なので不便の内容常に注意しながら実施 ・空調機は機械動力関係について電力消費が大きいので開館30分前の起動と大広間、カラオケ室のお客様入室状況によって台数の間引きを実施している	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうだったか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	・厨房正月MENUとして「春を呼ぶ新春ちらし寿司」を販売開始 ・おまかせMENU「ネギトロ丼」「照り焼きチキン丼」のほか「親子丼」「牛丼」も追加販売 ・1/26新春「初笑い寄席」を昨年に引き続き拓殖大学落語研究会「笑座会」を招き講演・・・漫才、コント、落語とバラエティーに富んだ笑いで盛況であった	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

2月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	2月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	B	・2/14駐輪場の屋根倒壊(大雪の重みによる支柱折損) ・2/8、14の大雪の為、閉館時間を夫々、20時、19時に繰上 又14日の予想を遥かに超える大雪の為、翌日、翌々日の 除雪が追いつかず駐車場が使用出来ずに止む無く15、16日 の2日間は臨時休館とした	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	B	・前室(脱衣所と浴室の間)の片側は半自動になっているがもう一方は手動式のままだとされているので開け放しが多い 湿気が脱衣室に進入すると、空調効果が損なわれる為、 苦情が絶えない。という事で所管へもう片方の半自動化を 検討願ったが予算の関係で即対応は難しいとの事だった ので「開放厳禁」の張り紙を掲示しお客様の注意喚起を促 す事とした。 ・上記関連して浴室や露天風呂の二重扉の手動引き戸も かなり開け放しが多い為、よく室内の暖気が損なわれ、 同時に風の吹き込みもあり迷惑であったので前室同様 に「開放厳禁」を掲示し注意喚起する事とした。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	・館内は空調(暖房、冷房)をエアコンでまかなっているが今 2月のような大雪が2回も続くと全機をフルに稼働して仲々 暖まらないが通常は稼働台数を決めて運転している。 勿論お客様に不都合の生じない範囲でカラオケ室、大広間 の入室状況を勘案し、又当日朝の気温から暖まり難い場合 はお客様に不都合のないよう全機フル運転を実施、比較的 暖かめの場合は運転台数を減らし、又事務室もフラインド からの日差しを有効に使い節電を実施している。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうだったか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	・おまかせMENU 2/1~11「おまかせ天丼」「ペペロンチーノ風パスタ」販売 2/11~17「野菜炒め定食」その他「おまかせビビンバ」 「あんかけチャーハン」等販売 ・2/14イベント「バレンタインスイーツ作り講座」は大雪の為、 キャンセルが相次ぎ止む無く中止となった	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無				

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

3月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	3月						所管課確認			
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		時期	内容	対応状況	次年度対応
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無					
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	B	・2月の想定外の大雪(2/8、14)の影響により倒壊した駐輪場を3月25、26にて工事完了。 ・2月の大雪による遊歩道含む周辺雑木林の状況確認、遊歩道南東部のフェンス近くの割合大きな木の倒壊が確認された為植栽業者に依頼し安全に切り倒した。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無					
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	A	・満足度調査実施 2月下旬から3月中旬にかけて満足度調査実施、今回は出来るだけ信憑性のあるデータとすべく500枚以上を目標に収集。(データ集約結果は所管殿に提出済み) ・消費税対応 入館料は据え置きであったがその他の食堂販売品、名産品入浴アイテムなどの価格改訂作業は31日につつがなく終了した。 ・渡り廊下清掃改善 朝の掃除の時に掃除機にて清掃しているが、毛玉様の葛が取り難かった。掃除後コロコロクリーナーで吸着する事で解消。	B	目標や計画どおりの成果であったため、B評価とした。	無					
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	A	・厨房水光熱費削減 入浴施設である湯ったり館はお湯を造る熱源の蒸気を除き電気、ガス、水道など光熱費は経費の中でもかなりのウェイトを占めている。その中でも殆どはお客様に拘わる風呂用の水、温水、空調節機用動力、循環ポンプ等機械系が占めており節水呼掛け、間引き、起動調整などで節減をしているが運営側でもある厨房の水光熱費も毎月のデータを計測し節減を実施している。 24年度の水道、温水、ガス、電力量実績から各々△5%を削減目標とし、25年度は電力量を除き、5%以上を達成する事が出来た。	A	無	無					
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうだったか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	A	・3月度おまかせ「焼肉定食」「えびピラフ&ポトフ」「竹の子ご飯+つけうどん」 「鰻フライ定食」のおまかせ販売 バラエティーMENUとして、五目ちらし寿司(パック販売)、豆と雑穀ご飯、塩茹で落花生など販売 ・湯ったり館名物の創作 八王子風ラーメンを新たに創作、現在は八王子ラーメンの名称使用許諾を申請中の為、「湯ったり館ラーメン」で販売中。	A	無	無					

# 平成25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 八王子市戸吹湯ったり館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	所管課年間評価		備考
						評価区分	コメント	
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	B	インシシへの対応について効果的な対策を講じ、柔軟な対応が図れたこと、また、利用者の体調の急変にも迅速に対応し、お客様の安全を確保することが出来たためB評価とした。	
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごろ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	B	従来、厨房専属、フロント業務専属などにより各従業員の役割を分けていたが、どの従業員も複数の役割を担えるようにすることで、全体の業務効率を上げるよう努めたためB評価とした。	
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	A	営業日の気温、利用客の込み具合等を勘案しながら、こまめに窓の開閉を行い、節電に努めながら利用者の増加を達成したためA評価とした。	
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうだったか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	定期的な厨房メニューの改善等を行っているものの、利用者数はほぼ目標値であったため、B評価とした。 平成24年度利用者数 実績値 79,725人 平成25年度利用者数 目標値 80,000人 実績値 84,026人	